

令和 8 年 7 月 13 日

各 位

中 野 市 長

令和 8 年度学校施設環境改善交付金事業中野市統合学校給食センター建設工事
(継続費事業) に対する質疑について (回答)

標記の件について、下記のとおり回答します。

記

番号	質問事項	回 答
1	設計図書他 中東情勢により、材料価格の値上や 納期などが見通せない状況です。材 料・資材価格の高騰、納期の遅れな どが生じた場合に、工事金額や工期 の変更、スライド条項の適用などは ご協議いただけますでしょうか。	原則は公告のとおりですが、必要に応じ、 協議に応じることとします。
2	A-113 解体工事から引き継ぐ仮設について、 A-113 図に記載がありますが、 数量や時期などの詳細をご指示くだ さい。	仮囲い A: フラットパネル H=2000, 132m 仮囲い B: 21.2m 仮囲い C: 70.1m ※10 月 30 日まで旧平野保育園解体工事 での負担とし、11 月 1 日からの引継とな ります。
3	A-001・S-13～16 実施設計書 P6 特記仕様書及び設計書に、埋戻土に ついては根伐土 (B 種) 流用とあり ますが、埋戻土・盛土に使用する土 量を場内にストックできません。柱 状図から掘削深度の土は軟弱で混じ り物もあることから、根伐土は全て 場外搬出处分とし、埋戻土・盛土は 購入土として考えざるを得ません	原則は公告のとおりですが、必要に応じ、 協議に応じることとします。

	が、変更金額の協議等は出来ますでしょうか。	
4	設計図書・設計書全般 各図面内に参考メーカーの記載がありますが、メーカー指定は無いものと考えて、同等品としてよろしいでしょうか。	同等品以上として構いません。
5	A-012、A-030～034 A-012 断熱材にウレタンフォーム吹付：鉄骨柱・梁 厚 50 mmの記載と備考に屋根外壁に接する柱・梁とありますが、矩計図ほか図面に柱の吹付指示の記載がありません。柱の吹付箇所および範囲について詳細をご指示ください。	外壁芯より 1m以内に存する柱・梁について吹付範囲としてください。
6	A-088、A-021～022、A-037～41 A-088 図：F-5～F-9 の洗面器の表記は角型ですが、品番 L700C は丸型の品番となっております。平面図：平面詳細図では丸型となっておりますが、どちらを正とすればよろしいでしょうか。	品番 L700C を正としてください。
7	A-088 F-1～F-9 の家具の小口：薄物メラミン小口材とありますが、廃盤となっております。通常の小口テープまたはメラミン材でよろしいでしょうか。（メラミン材は最小曲げ半径 R200 となります）また、F-1 R50 小径で曲げる場合は、使用する材料が小口テープ かメラックなどになり、柄の選択肢が少なくなります但よろしいでしょうか。	メラミン化粧板近似柄の小口テープとしてください。
8	S-13・14 柱状図から GL 以深 10m 程度まで、テストハンマーが自沈するほどの軟弱層が見受けられます。杭工事や土工重機の作業・移動、車両の通行によって	重機用の地盤改良はおおよそ建築面積＋1 m範囲で見込んでおります。家屋調査について後日協議し別途としてください。

	敷地周辺へ振動が伝播することが予想されます。敷地周辺の家屋について家屋調査が必要となった場合の費用や工期など、後日協議し別途としてよろしいでしょうか。	
9	A-001,012～014 化学物質の濃度測定について、特記に方法等の詳細指示の記載がありません。仕上表にも測定箇所の凡例はありますが、測定対象室がどこかの指示がありません。化学物質の濃度測定についての詳細をご指示ください。	パッシブ法(拡散法) 5 物質(ホルムアルデヒド、トルエン、エチルベンゼン、キシレン、スチレン)とします。 対象は以下の 20 室です。 荷受室 1、検収室、器具洗浄室 1、野菜類下処理室、食品・計量室、米庫、洗米室、上処理・煮炊き調理室、和え物室 食物アレルギー対応調理室、揚げ物・焼き物・蒸し物調理室、炊飯室、コンテナ室、洗浄室、市職員用事務室、2 階会議室、2 階男子更衣室、2 階女子更衣室、2 階事業者事務室、2 階事業者休憩室
10	A-035・03、S-28 鉄骨階段の BPL 形状が意匠図と構造図で異なっております。構造図を正と考えてよろしいでしょうか。	構造図を正としてください。
11	A-065・066 軽量ドアの仕上に粉体焼付塗装鋼板とあります。これらの建具は準備・職員エリアなどの一般的な部屋の建具ですので、アクリル樹脂焼付塗装等としても耐久性に問題は無いと思われます。仕上を焼付塗装などに変更してよろしいでしょうか。	変更しても構いません。
12	A-030～033・S-15、A-027・M-25 ピットの底盤コンクリート:厚 80 mm D10@200 シングル配筋 とありますが、厚さ 80 mmでは かぶり厚が不足し、地盤が軟弱なために割れが生じる恐れがあります。厚さ 80 mmでよろしいでしょうか。	設計書のとおりとしてください。詳細については、施工時協議とします。
13	A-030～033 実施設計書 P14 防火水槽部分に止水板の図示があり	設計書のとおりとしてください。詳細については、施工時協議とします。

	ますが、他のピットに止水板はありません。柱状図の水位は基礎下ですが、シルト層は水を通しにくいいため、雨天では盛土層とシルト層の境から水が湧き出ます。周囲は川に囲われていることもあり、ピットに水の侵入が懸念されますが、止水板は無しで よろしいでしょうか。	
14	実施設計書 P14 型枠工事の項目に 1 階のスラブの排水溝型枠 (m) やスラブ型枠のハンチ形状といった、加工型枠の数量・項目がありません。基礎型枠の数量 (m²) に含まれているのでしょうか。	お見込みの通りです。
15	A-027、S-16、S-20～24 A-027 図に資材投入口などで地中梁の天端を下げる表記がありますが、構造図と不整合があると思われます。Y1 通り、Y8 通りは構造図に梁を下げる記載指示は無く、意匠図の記載通りに梁を下げると基礎の下端よりも梁が下がってしまいます。詳細をご指示ください。	構造図を正としてください。 (梁貫通処理を同箇所に見込んでください)
16	実施設計書 P10 杭工事の発生土は建設汚泥としての処分になります。 不用土処分：578m³ とありますが、建設汚泥（産廃）としての搬出・処分に費用を見込まれているのでしょうか。	産業廃棄物として見込んでおります。
17	実施設計書 P6 土工事の不用土処分の項目には、杭工事の仮設として固化改良を行った地盤を掘削する分が含まれると思われます。その部分は改良土のため、建設汚泥（産廃）となります。内訳項目には改良土の処分項目はありませんが、産廃としての搬出・処分に	お見込みの通りです。

	て費用を見込まれているのでしょうか。	
18	設計書 P-100 A-2 外構 1 外構工事（土工）残土について 運搬距離及び処分費はどのようにお考えでしょうか。	運搬距離は 10 km以内を見込んでいます。 産業廃棄物として見込んでいます。
19	設計書 P-104 図面 G-01・G-07 A-2 外構 1 外構工事（防護柵工） 車両用防護柵について 設計書では Gr-C-2B ガードレールですが図面は Gp-C-2B になっております。どちらでしょうか	Gp-C-2B を正としてください。
20	設計書 P-105 図面 G-01 A-2 外構 1 外構工事（植栽工）サツキについて 規格詳細（高さ等）を提示願います。	密植、高さ 0.3m、幅 0.4m 549 本としてください。
21	設計書 P-106 図面 G-01・G-07 A-2 外構 1 外構工事（舗装工）基層工 油水分離槽上面について t=7.5cm ですが、1 層施工厚 7cm 未満のため 2 層施工でよろしいでしょうか。	結構です。
22	設計書 P-106 図面 G-01・G-07 A-2 外構 1 外構工事（舗装工）薄層カラー塗装について 薄層カラー舗装の材料詳細規格を提示願います。	アクリル系カラー塗布材としてください。
23	設計書 P-107 A-2 外構 2 外構附帯工事（土工） 不用土処分について 運搬距離及び処分費はどのようにお考えでしょうか。	質問番号 18 番と同様です。
24	設計書 P-107 図面 G-11 A-2 外構 2 外構附帯工事（附帯） 洗車場について 1 か所当たりの数量内訳を提示願います。又、土間コンクリートの配筋等提示願います。	添付資料①を参考としてください。 配筋は構造図を参考としてください。

25	設計書 P-107 図面 G-09、 A-112、S-31 A-2 外構 2 外構附帯工事（附帯） 受水槽基礎について 1 か所当たり の数量内訳を提示願います。	添付資料①を参考としてください。
26	設計書 P-107 図面 G-09、S-31 A-2 外構 2 外構附帯工事（附帯） 屋外機置場基礎について 1 か所当 たりの数量内訳を提示願います。	添付資料①を参考としてください。
27	設計書 P-107 図面 A-102～107 A-2 外構 2 外構附帯工事（附帯） 除害処理設備について 1 か所当 たりの数量内訳を提示願います。	添付資料①を参考としてください。
28	設計書 P-107 図面 A-112 A-2 外構 2 外構附帯工事（附帯） 物置 1・2 について 1 か所当たりの 数量内訳を提示願います。	添付資料①を参考としてください。
29	M-01（特記仕様書） 建築発生土の処理について指示があ りません。発生土は場外処分でしょ うか。	質問番号 18 番と同様です。
30	M-05（空調設備 1 階平面図） パッケージエアコン GHP-2-3 の機 器が図面上と内訳書では 2 台と表記 されていますが、M-04 の機器表では 1 台と表記されています。どちらを 正とすべきでしょうか。	内訳書の 2 台を正としてください
31	M-05（空調設備 1 階平面図） 浸透枳の仕様が不明なため、詳細を ご指示ください。	施工要領図を添付します。 添付資料②参照
32	M-06（空調設備 2 階平面図） パッケージエアコン EHP-3-10 の機 器が図面上と内訳書では 1 台と表記 されていますが、M-03 の機器表では 2 台と表記されています。どちらを 正とすべきでしょうか。	内訳書と M-06 の 1 台を正としてくださ い。
33	M-15（厨房排気設備 1 階平面図）	内訳書を正としてください。

	厨房排気フード fH21 に関しまして、図面上と厨房排気フード表では 2 台と表記されていますが、内訳書では 1 台とされています。どちらかと正とすべきでしょうか。	
34	M-30(蒸気設備 ボイラ室詳細図) 薬注装置 PZ に関しまして、図面上では 2 台記載されていますが、M-19 の機器表と内訳書では 1 台とされています。どちらを正とすべきでしょうか	内訳書を正としてください。
35	A-015 (工事区分表) M-21 (配置図) 設計書 P-236 A-015 にて、「上水道負担金 (加入金)」は別途工事とありますが、M-21 では既存量水器の記載があります。どちらを正といたしますか。	水道加入金は内訳書計上どおり本工事で見積してください。
36	A-052(展開図) M-20 (衛生器具表) 設計書 P-89、P-230 化粧鏡について、建築工事と機械設備工事で重複しているものがあるように思います。ご確認ください。	建築工事を正として、機械設備工事分 36 組としてください。(1 階市職員 WC、2 階男子更衣室、女子更衣室、会議室、一般 WC(W)、一般 WC(M)の 12 組重複)
37	A-013.038.074 設計書 P-97 冷蔵庫の断熱パネルの厚さですが、A-013 : 不燃断熱パネル t50、A-038: パネル t75、A-074 : 断熱パネル t42、と図面により異なっております。パネル厚をご指示ください。また、設計書のパネル工事では各工事ごと 1 式となっておりますので設計内訳を提示願います。	パネル厚 t50 が基本、食物アレルギー対応調理室との間の壁のみ t75 です。 設計内訳については、図面と内訳書をもとに積算の上算定ください。
38	A-012・A-024・A-025 設計書 P-35～42 内外仕上表の屋根 1、屋根 2 の豎樋 (カラーVP) と立面図の仕様 (アルミ) が、仕上・径の整合性が取れて	仕上表を正としてください。

	いません。どちらを正とすればよろしいでしょうか。	
39	A-030～A-036 設計書 P-43～45 矩計図にパラペット角波と防水取合いアルミ水切りがありますが、土台水切りは図面内に明記がありません。設計書にはカラーアルミ既製品とありますが、この仕様でよろしいでしょうか。	同様の仕様としてください。
40	A-024・A-025 外壁 2（角波+断熱材下地 t25）と外壁 3（角波+断熱材 t37.5）の範囲区分が不明確なため、立面・平面図上でそれぞれの壁の範囲をご指示ください。	図示します。 添付資料③参照
41	S-15 ほか 敷地の北側と西側は住宅が近接し、南側には自動車会社の車両置場となっておりますが、地盤改良材の飛散や杭打機から土砂の飛散が予想されます。飛散を抑制するための仮囲い（シート養生足場）等が必要と思われますが、現地の状況に応じた別途協議としてよろしいでしょうか。	別途協議とします。

※「質問事項」については、各業者から提出された原文をそのまま使用しております。

中野市教育委員会事務局学校教育課施設係
(内線 419)